MUGA
ストイックPC4 高画質 高セキュリティー
KNW14FHD4-SR [SILVER]

KNW14FHD4-SR [SILVER] 取扱説明書

≪本書について≫

ご使用の前に必ず本書をよくお読みになり、安全にご使用ください。本書に掲載された内容はバージョンによって実際の操作画面と異なる場合があります。また、製品の仕様やデザインは改良、その他理由により予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。本書に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

≪本製品について≫

本製品は一般家庭での使用を目的として設計、製造された民生用の製品です。業務上の長時間使用や車両・船舶への搭載などの業務用途には使用しないでください。

目次

● 安全上の注意/ご使用上の注意/その他の注意		P2～P4
● 各部の名称/各部の説明		P5～P6
● USB3.0 Type-Cポートについて/本体への充電/電源の入れ方		P7
● 初回起動時		P8
● 使い方	・基本設定が終わったら	P9～P11
	・タッチパッドの操作	P12
	・キーボードの操作	P13～P14
	・アカウントの操作/シャットダウンと再起動	P15
	・Windowsの設定	P16
	・無線LAN(Wi-Fi)の設定	P17～P19
	・指紋認証の設定	P20～P22
	・WPS Office 2について	P23
	・microSDカードの取り付け手順	P24
	・SATA3 M.2 SSDの取り付け手順	P25～P31
	・Windowsの初期化	P32～P33
	・FAQ(よくある質問)	P34～P38
● 仕様		P39

付属品の確認

● PC本体	1台
● 充電用ACアダプタ(コード長:約2.0m.)	1個
● Mini HDMI変換ケーブル(コード長:約22cm)	1本
● 保証書	1枚
● 取扱説明書(本書)	1冊
● WPS Office 2 ライセンスカード	1枚

ご使用の前に「安全上の注意」「ご使用上の注意」「その他の注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。
※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」と「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示します。

⃠ 記号は禁止「してはいけないこと」を示しています。
❗ 記号は指示「しなければいけないこと」を示しています。
ⓘ 記号は留意点「覚えておくべきこと」を示しています。
※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

◆安全上の注意

警告

- 火気のそば・高温下での使用や、水中への投入、電子レンジやオーブンでの加熱などはおこなわないでください。本製品はリチウムポリマーバッテリーを使用しております。リチウムポリマーバッテリーの故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 充電時は付属の充電用ACアダプタ、USB Power Delivery対応かつ12V2Aまたは15V2A出力に対応したUSBアダプタ、またはモバイルバッテリー以外は使用しないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 本体を分解、改造しないでください。火災や感電の原因となります。
- 歩行中、自動車や自転車の運転中に操作はしないでください。事故の原因となります。
- 本製品を医療機器に近づけたり、ペースメーカーをご使用の方の近くで使用しないでください。医療機器に悪影響が出る場合があります。
- 本体や付属品に強い衝撃を与えたり、加熱したり、水をかけたりしないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 濡れた手で電源、本体、付属品に触れないでください。火災や感電の原因となります。
- 使用中は機器が熱を持ちます。電源を入れたまま、素手で同じ場所を長時間持ち続けたり、膝の上で長時間使用しないでください。低温やけどの原因となるおそれがあります。
- 開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 本製品は日本国内での使用を前提に設計されています。（This product is designed for use in Japan only.） 日本国内の家庭用電源以外で使用しないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

本体の動作に異常が見られる場合は使用を中断し電源を外したあと、弊社カスタマーサポートにご連絡ください。（煙が出る、においがする、本体が異常に熱くなる、触れるとビリビリと電気を感じる、本体が変形・破損したなど）

航空機内の離着陸時は電源をお切りください。航空機の機器に悪影響が出る場合があります。

落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本体をシャットダウンして、電源を外してください。落雷による感電・火災の原因となります。

◆ご使用上の注意

ホコリの多い場所や湿度の高い場所に置かないでください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。

直射日光のあたる場所や暖房器具の前など、高温になる場所で保管、使用をしないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

本体に強い衝撃や振動を与えないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

毛布やじゅうたんなど静電気を帯びやすいものの近くや、テレビ、磁石、スピーカーボックスの近くなど強い磁気を帯びた場所には置かないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

端子部分にホコリや油を付着させないでください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。

電源を取り扱う際は、次の点にご注意ください。

- コンセントおよび本体コネクタから抜くときは、コードを引っ張らない。
- 折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない。
- 屋外で使用しない。
- 布などでくるまない。

故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。

注意

不安定な場所や地震などによって落下、転倒しやすい場所には置かないでください。落下、転倒により故障、発熱、発火、破裂、けがの原因となります。

液晶ディスプレイを強く押したり、先のとがったものでキズを付けないでください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。

本製品を設置したり移動する場合は、指などを挟んだり、落下させたりしないよう十分注意してください。故障やけがの原因となります。

タッチパッド部分には必ず指でタッチしてください。先のとがったものや硬いもので操作をおこなうと、本体破損の原因となります。

掃除をおこなう場合は必ず電源を切り、全てのケーブルを抜いたあと、乾燥した柔らかい布で拭いてください。その際には化学薬品は使用しないでください。故障、発火、感電、変色の原因となります。

充電が終わったら必ず、電源を抜いてください。過充電によるバッテリーの消耗や、接続中のコードに引っかかるなどの負荷により故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

長期間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。絶縁劣化などにより故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

◆その他の注意

廃棄する場合は各地方自治体の条例に従って破棄してください。本製品にはリチウムポリマーバッテリーが含まれています。廃棄する場合は絶対に「一般ゴミ」として捨てないでください。

リチウムポリマーバッテリーの特性上、使用環境により消耗し充電のパフォーマンスが低下します。膨張や充電不良を除くバッテリー消耗に関しましては保証期間に関わらず保証対象外となりますのでご了承ください。リチウムポリマーバッテリーを長くご使用になるには過充電と過放電にご注意ください。過充電・過放電ともにバッテリーを非常に消耗しますので、バッテリー残量に関しては20%～80%程度の間をキープしてご使用いただくことをおすすめします。また、一度過放電状態になると、再度ご使用いただける状態になるまで充電に時間がかかる場合があります。

熱や水、落下など衝撃による本体の破損やキズ、その他お客様による物理破損は保証対象外となります。

液晶ディスプレイの表面を押すと色や明るさのムラが発生することがあります。掃除のときなどは爪を立てたり、過度に力をいれて拭いたりしないでください。

本製品に内蔵されているリチウムポリマーバッテリーは消耗品となります。リチウムポリマーバッテリーの特性上、使用環境により消耗し充電のパフォーマンスが低下します。バッテリーの消耗に関しましては保証期間に関わらず保証対象外となりますのでご了承ください。

内蔵リチウムポリマーバッテリーの交換はお客様ではおこなえません。ご購入の販売店または弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。有償の修理・交換対応となります。（その際にデータ、インストール済アプリなどはすべて初期化されますので、必ずバックアップを取ってください。）

本製品を長期間使用しない場合は、バッテリーの過放電を防ぐため1ヶ月を目安に定期的に充電をお願いします。バッテリー性能の劣化を防ぐことができます。

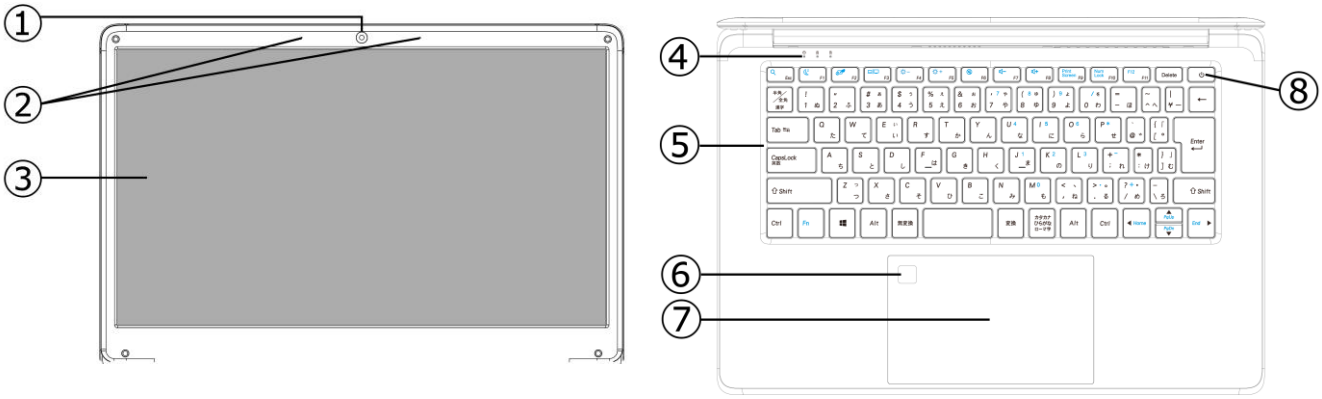
液晶パネルは、精密な技術によって製造しているため、その特性として、ドット抜けと呼ばれる液晶パネル内に点灯しない画素(黒点)や、いつも点灯する画素(輝点)、明るさにムラが感じられる場合がありますが、製品の故障ではありません。これらは製造技術上、完全になくすことができないものとなりますので保証対象外となります。

＜カスタマーサポート＞
フリーダイヤル：　0120-807-860
受付時間：　日～土曜日9:30～18:00　（年末年始、ゴールデンウィーク、お盆を除く）

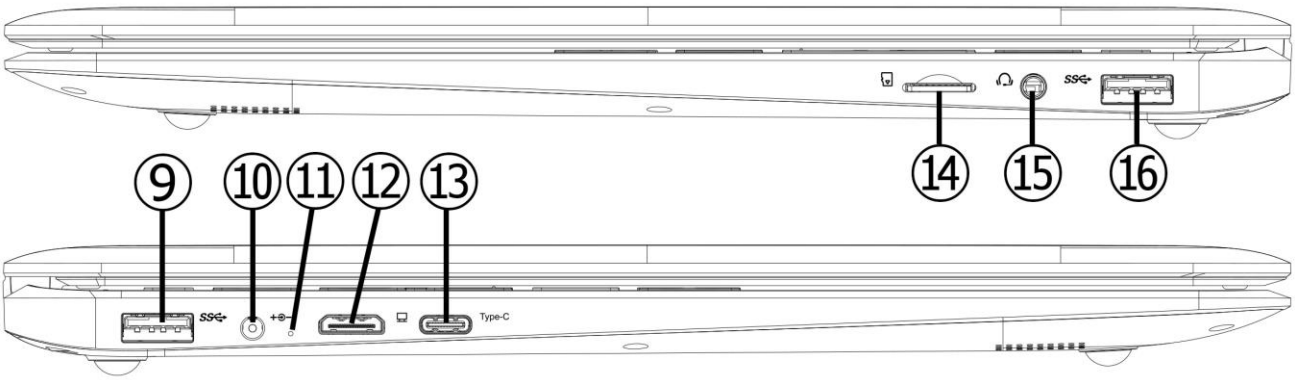
・Bluetooth®　ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.　が所有権を有します。恵安株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。・HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ　は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.　の商標または、登録商標です。

◆各部の名称　※画像はイメージです。

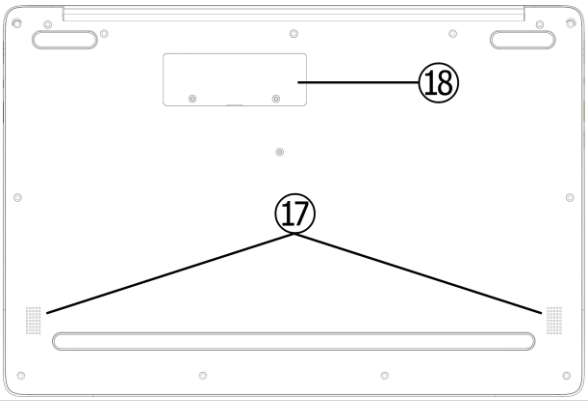
本体正面



本体サイド面



本体裏面



◆各部の説明

①	カメラ	200万画素のインカメラです。
②	マイク	音声の入力や録音に使用します。
③	ディスプレイパネル	画面表示に使用します。
④	インジケーター	電源・CapsLock・NumLockの状況を表示します。
⑤	キーボード	文字入力の際に使用します。
⑥	指紋センサー	指紋認証をおこなうセンサーです。このセンサーで指紋を登録することにより、登録した指を置くだけでパソコンのサインインなどがおこなえます。
⑦	タッチパッド	カーソル操作の際に使用します。
⑧	電源ボタン	本体の電源を入れるために使用します。
⑨	USB3.0ポート	マウス、USBメモリなどの外部機器を接続します。USB3.0対応機器を使用することでUSB2.0よりも高速通信が可能です。また、USB3.0対応機器以外でもご利用が可能です。
⑩	電源入力ポート	本体への充電に使用します。充電の際は付属の充電用ACアダプタをご使用ください。
⑪	電源入力インジケーター	電源接続状態で充電中のときに赤く点灯、フル充電状態の場合は青に点灯します。
⑫	Mini HDMI出力ポート	HDMI入力に対応しているモニターなどに接続することで、映像を外部に出力することができます。一般的な市販のHDMIケーブルを使用する際に、付属のMini HDMI変換ケーブルを使用することで、この端子に合ったコネクタに変換することができます。
⑬	USB3.0 Type-Cポート	USB Type-C端子を持つ周辺機器を接続します。また、本ポートは「DisplayPort Alternate Mode」および「USB Power Delivery」に対応しています。
⑭	microSDスロット	外部ストレージとしてmicroSDカードを使用できます。（最大128GBまで）
⑮	3.5mm ヘッドセットジャック（オーディオ出力+マイク入力）	イヤホンを挿すとスピーカーからイヤホンに音声出力が切り替わります。 また、ヘッドセット（マイク付きイヤホン/ヘッドホン）を接続すると、音声を聞きながらマイクから音声の入力ができます。
⑯	USB3.0ポート	⑨USB3.0ポートと同じ働きをするポートです。
⑰	スピーカー	音声を出力します。
⑱	M.2 SSDスロット	SATA3 M.2 SSD（B Key Type 2280）を取り付けることができる増設スロットです。

◆USB3.0 Type-Cポートについて

本製品のUSB3.0 Type-Cポートは、「USB Power Delivery」での本製品への充電と「DisplayPort Alternate Mode」に対応しています。

- **USB Power Deliveryとは**
  USB3.0 Type-Cポートで通常のUSB端子と比べ、大容量の電力供給ができる給電規格です。
  市販のUSB Power Delivery対応アダプタ(または、モバイルバッテリー)およびUSB Type-Cケーブルでの本製品の急速充電ができます。これにより各機器のケーブルやアダプタ全てを持ち運ぶ必要がなくなり、荷物を減らすことができます。
- **DisplayPort Alternate Modeとは**
  USB3.0 Type-Cポートで「DisplayPort」規格による映像出力ができる機能です。
  モニターやプロジェクターなどで本機能による入力に対応しているUSB Type-Cポートを備えていれば、別売りの映像伝送対応USB Type-Cケーブルで本製品の映像をこれらの機器に映像出力することができます。

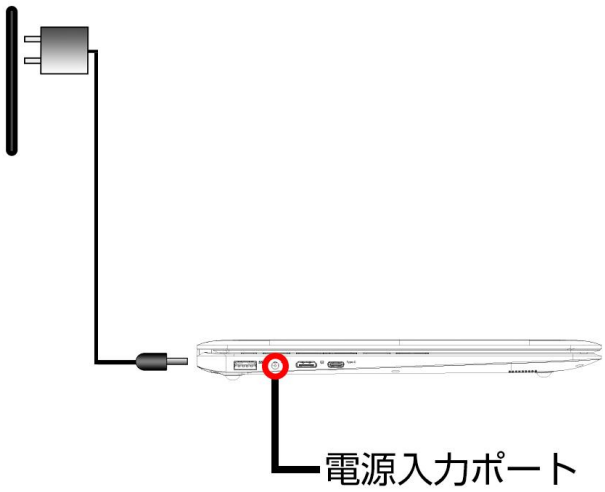
これらの機能により、下記のような使い方ができます。

- DisplayPort Alternate Mode対応のモニターやプロジェクターなどの映像表示機器とUSB Type-Cケーブルを用意することで、HDMIケーブルを使わずにそれらの機器に本製品が表示している内容をそのまま表示したり、本製品の表示エリアをそれら機器の表示エリアまで拡張することができ、作業効率をアップすることができます。
- 対応したモバイルバッテリーやUSBアダプタから本製品への給電・充電ができます。これにより本製品への高速充電ができ、付属の充電用ACアダプタを持ち歩かなくても充電ができます。

注意:USB3.0 Type-Cポートでの充電をおこなう場合、USB Power Deliveryおよび12V2Aまたは15V2A出力に対応したUSBアダプタまたはモバイルバッテリーを必ず使用してください。

◆本体への充電

① 本体の電源入力ポートに充電用ACアダプタのコネクタを挿し込んでください。
② 充電用ACアダプタをコンセントに接続してください。
※初回使用時は事前にフル充電をおこなってください。
充電の残量にもよりますが、最大で8時間程かかる場合があります。



◆電源の入れ方

ディスプレイパネルを開き、本体キーの「電源ボタン」を電源インジケーターが点灯するまで長押ししてください。

◆初回起動時

はじめて本製品をご使用の際はWindowsの基本設定をおこなう必要があります。
OSのバージョンや、使用される言語などによって若干内容が異なる場合があります。その際は画面上に表示される文章に従って入力をおこなってください。

● 基本設定

① 基本設定が表示されます。
（ア） お住まいの地域設定が表示されますので、[日本]を選択し右下の[はい]をクリックしてください。
（イ） キーボードレイアウトの選択は、初期設定のまま変更せずに、右下の[はい]をクリックしてください。
（ウ） [2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか？]の画面が表示されます。ご希望に合わせて設定してください。他の言語のキーボードレイアウトが必要ない場合は[スキップ]をクリックしてください。

② ネットワークの設定画面が表示されます。
（ア） 無線LAN（Wi-Fi）の環境がある場合は、お持ちのルーターの取扱説明書をご確認のうえ、設定してください。無線LAN（Wi-Fi）の設定はP17をご確認ください。初期設定完了後でも設定が可能ですので、ここでは左下の[インターネットに接続していません]をクリックしてください。
（イ） 「インターネットに接続すると、さらにいろいろな発見があります」の画面が表示されますが、左下の[制限された設定で続行する]をクリックします。

③ アカウント設定画面が表示されます。
（ア） Windows10使用許諾契約が表示されますので、内容をご確認のうえ、[同意する]をクリックしてください。
（イ） アカウント設定をおこないます。ご希望のユーザー名、パスワード、セキュリティの質問を設定してください。
※ 今回は、ネットワーク設定時に[インターネットに接続していません]を選択しているため、ローカルアカウント設定画面が自動的に表示されますが、ネットワーク設定画面で無線LAN（Wi-Fi）設定をおこなっている場合、Microsoftアカウントでのサインイン設定が可能です。Microsoftアカウントを使用してサインイン設定をおこなう場合は、画面に従って設定してください。ローカルアカウント（またはオフラインアカウント）を設定している場合でもあとからP16「Windowsの設定」内の「アカウント」から設定可能です。
※ 設定したパスワードを忘れないよう、管理に十分ご注意ください。パスワードなどを忘れてしまった場合、メーカーを含めた第三者がそれを解除することはできません。もし忘れてしまった場合は、P34の3「ログイン用のパスワードを忘れてしまった」をご確認ください。

④ サービスの設定画面が表示されます。
（ア） 「デバイスのプライバシー設定の選択」画面では、各種プライバシー設定が可能です。記載内容をご確認のうえ、適宜設定いただき、[同意]をクリックしてください。
（イ） 「Cortanaによる作業の支援を許可する」画面が表示されます。[詳細情報]を選択することでCortanaの概要説明が確認できます。[同意]か[今は実行しない]をクリックしてください。
⑤ これで初期設定は完了となります。すべての設定が終了するとデスクトップ画面が表示されます。

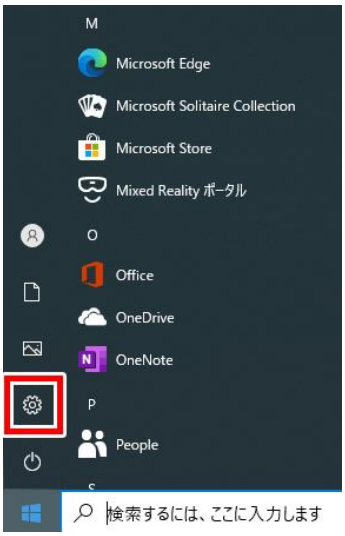
◆使い方　・基本設定が終わったら

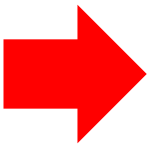
基本設定完了後デスクトップ画面が現れたら、まずP17の無線LAN（Wi-Fi）設定の項目で無線LAN（Wi-Fi）の設定をおこなってください。次にWindowsのアップデートをおこなっていただく必要がありますのでアップデートの前には十分に充電をおこない、ACアダプタを接続した状態でおこなってください。

アップデートの前に、スリープ状態にならないよう、スリープ設定をおこないます。
※アップデート中にスリープ状態になると、アップデートが失敗する場合があります。

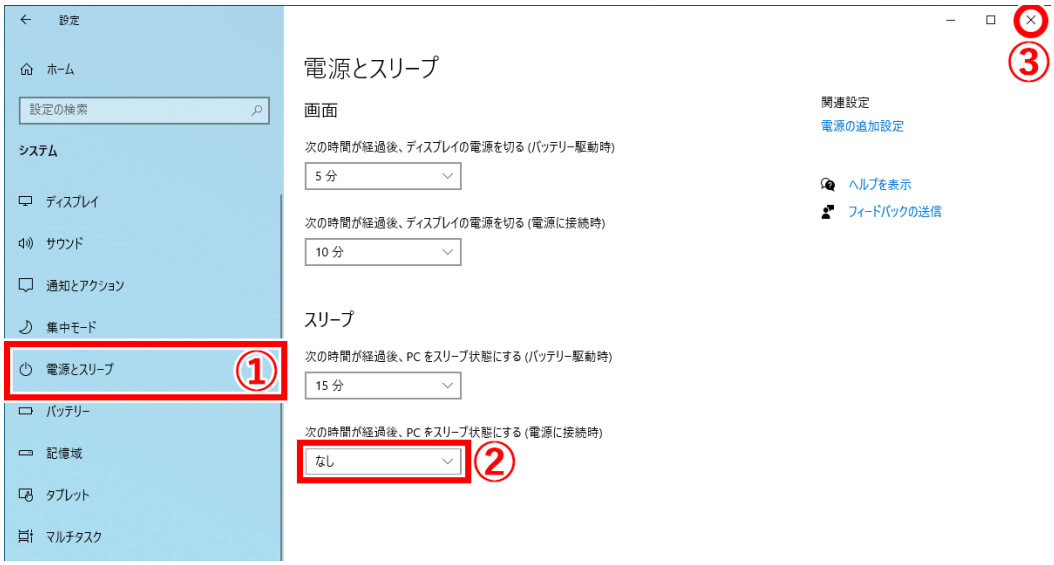
1. デスクトップ画面左下のスタートボタン（Windowsアイコン）をクリックし、スタートメニューを表示させます。

2. スタートメニューの[　設定　⚙]をクリックして「Windowsの設定」画面を表示させ、[　システム　]をクリックしてください。



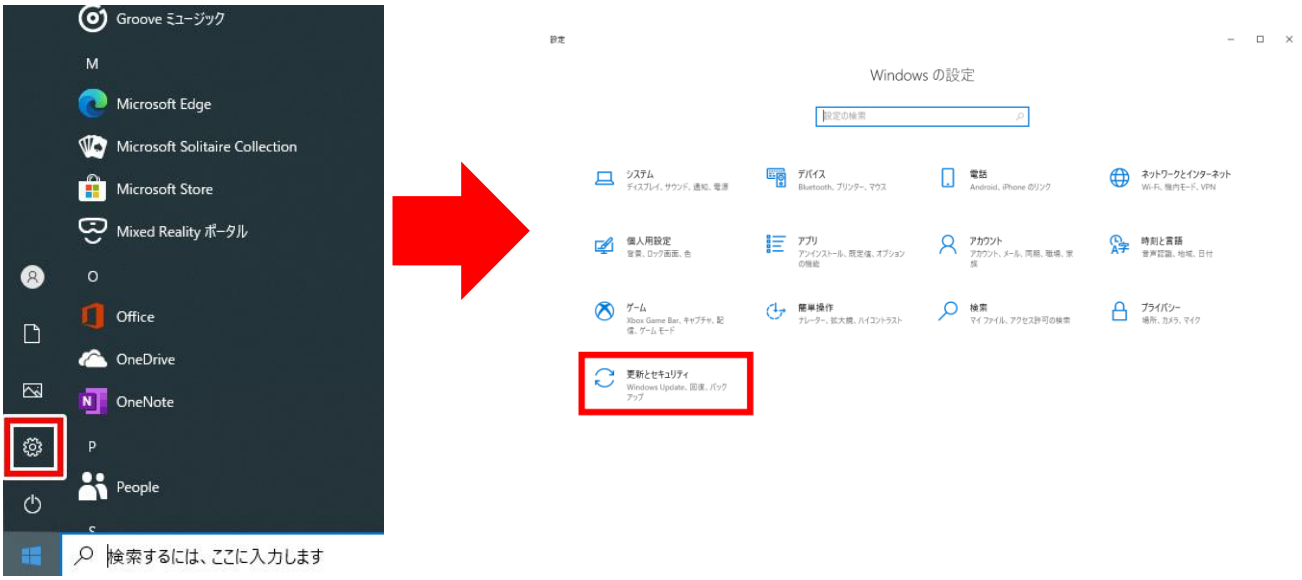


3. [　電源とスリープ　]（下図①）をクリック後、「次の時間が経過後、PCをスリープ状態にする（電源に接続時）」を[　なし　]（下図②）に設定してください。これで、スリープ設定完了です。最後に右上の×ボタン(下図③)をクリックしウィンドウを閉じてください。

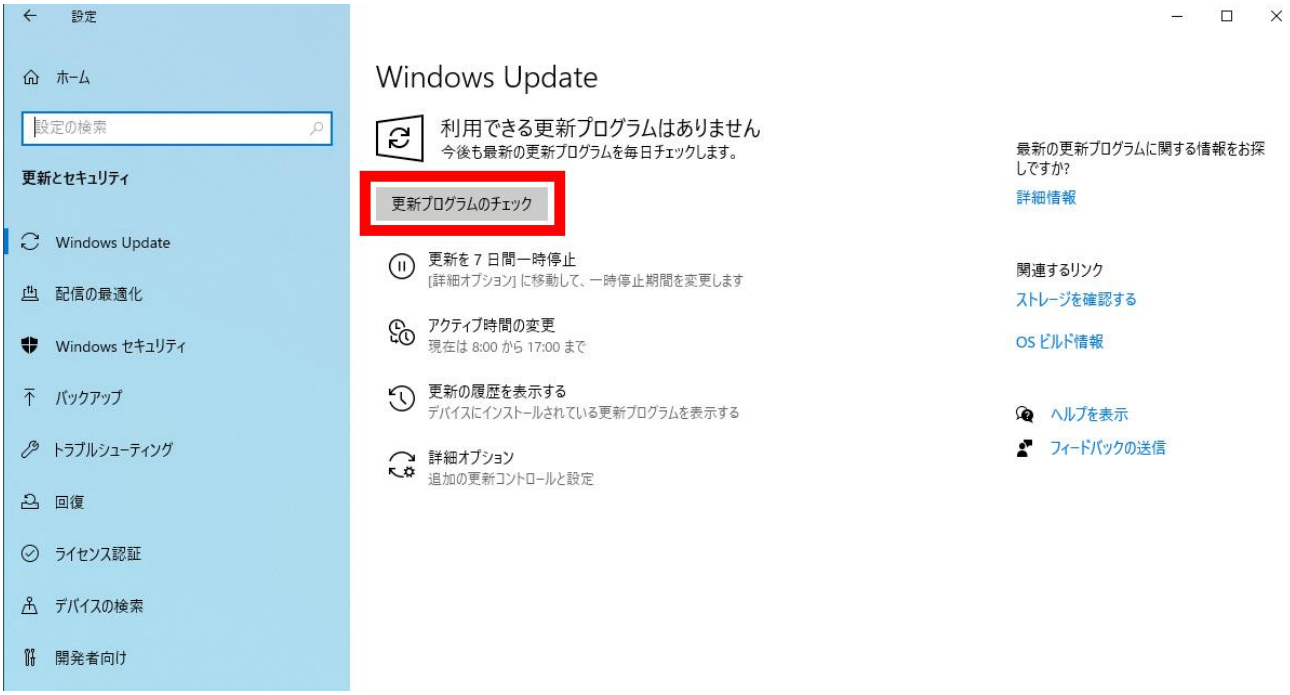


次にアップデートをおこないます。

1. スタートメニューの[設定 ⚙]をクリックして「Windowsの設定」画面を表示させ、[更新とセキュリティ]をクリックしてください。



2. [更新プログラムのチェック]をクリックしてください。



3. アップデートが開始されますので完了までしばらくお待ちください。

途中で再起動を要求される場合は、指示に従って再起動をおこなってください。再起動完了後再度同じ手順を繰り返しアップデートの確認をおこなってください。アップデートが完了しましたら、バッテリーの消耗を軽減するため、スリープモードを設定しなおすことをおすすめします。

注意

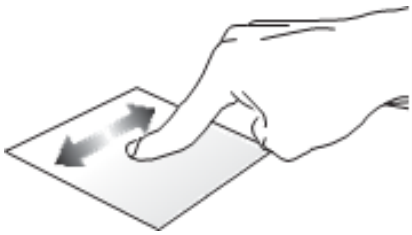
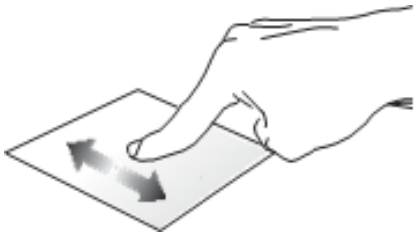
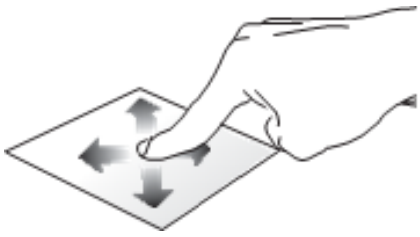
1. **Windowsのアップデートには、長い時間を要することがあります。アップデート中は再起動や画面が消えるなどの動作をする場合がありますが、アップデートの完了が確認できるまで、充電用ACアダプタを挿した状態でお待ちください。**

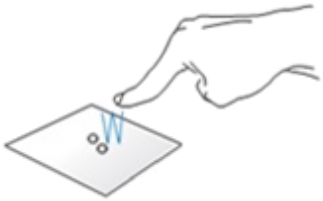
2. **アップデート中に強制終了をおこなったり、バッテリー切れで電源が落ちてしまった場合、Windowsのデータが破損して起動できなくなるなどの不具合の原因となりますのでご注意ください。**

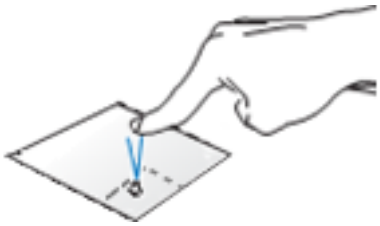
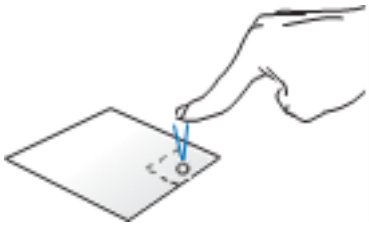
3. **大型アップデートでは多くの容量を必要とします。アップデート完了後、Windowsの古いバージョンも、以前の状態に戻せるよう保存されていますが、この古いバージョンも多くの容量を使用しますので、古いバージョンファイルの削除をおこないたい場合は、本書P36の7をご確認ください。**

◆使い方　・タッチパッドの操作

タッチパッド上をクリックまたはタップしたあとにそのまま指をスライドすると、画面上のポインタを移動することができます。
タッチパッド上の指紋センサー周りは、タッチパッド操作に反応しませんのでご注意ください。

横にスライド移動	縦にスライド移動	斜めにスライド移動
		

タップ/ダブルタップ	ドラッグ＆ドロップ
	
アプリやファイルをタップして選択します。 アプリやファイルをダブルタップして起動します。 それぞれ、クリック、ダブルクリック操作として扱われます。	アイコンやフォルダなどの上にポインタを合わせ、パッド（左下）を押し込んだまま、パッド上で指を動かします。動かした指を離すとドロップされます。

左クリック（または、クリック）	右クリック
	
アイコンを選択するときなどに使います。 連続して2回クリックすると、ダブルクリック操作となります。	右クリックメニューを出すときなどに使います。

◆使い方　・キーボードの操作

Fn	を押しながら	Esc	検索ウィンドウを表示します
Fn	を押しながら	F1	パソコンをスリープ状態にします (キーボードのいずれかを押すと解除されます)
Fn	を押しながら	F2	タッチパッドを無効または有効にします
Fn	を押しながら	F3	画面の出力設定を切り替えます
Fn	を押しながら	F4	画面の明るさを下げます
Fn	を押しながら	F5	画面の明るさを上げます
Fn	を押しながら	F6	スピーカーの音量をミュート（消音）します
Fn	を押しながら	F7	スピーカーの音量を下げます
Fn	を押しながら	F8	スピーカーの音量を上げます
Fn	を押しながら	Print Screen F9	Windows画面をクリップボードにコピーします
Fn	を押しながら	Num Lock F10	NumLockを有効または無効にします
Fn	を押しながら	F12 F11	F12キーとして動作します

NumLock(ナムロック)時のキーボード操作に関して

「Fn」と「NumLock」キーを同時に押すことで、NumLockを有効にすることができます。NumLockが有効になっているとき、以下のキーで数字、記号の入力をおこなうことができます。

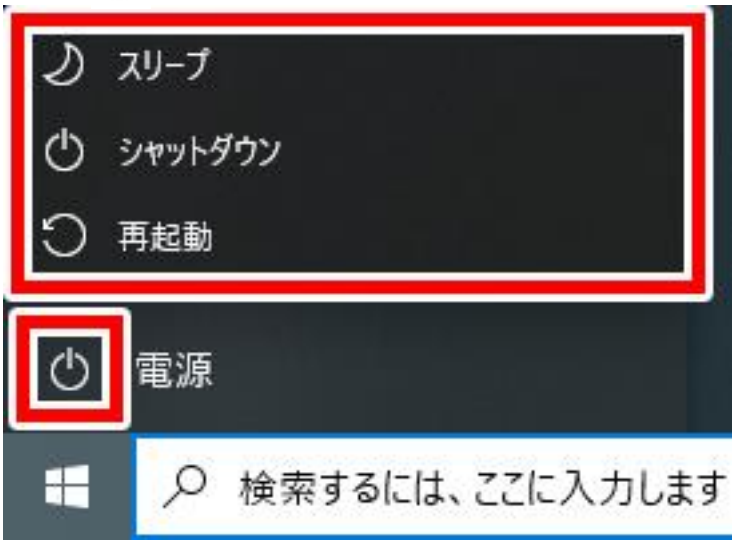
NumLock有効、無効はキーボード上のインジケーターランプで確認することができます。

◆使い方　・アカウントの操作

スタートメニュー内の[アカウント]をクリックすると、アカウントの設定やサインアウト、ロックなどがおこなえます。
また、サインアウトをおこなうことでアカウントの切り替えも可能です。

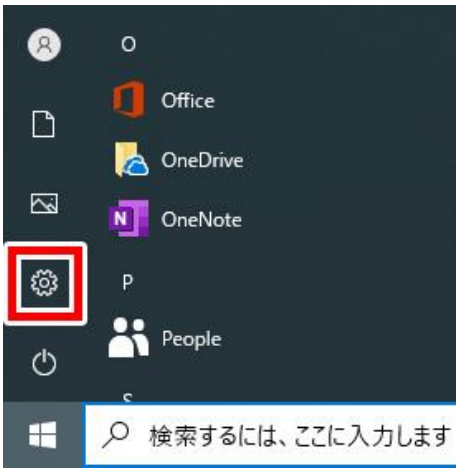
◆使い方　・シャットダウンと再起動

[電源]をクリックしてシャットダウンや再起動ができます。



◆使い方　・Windowsの設定

スタートメニューから[設定 ⚙]をクリックしてください。



または、タスクバーの[アクションセンター 🗨]をクリックしたあと[すべての設定]をクリックしてください。

※表示されていない場合は[展開]をクリックすると、すべてのメニューが表示されます。

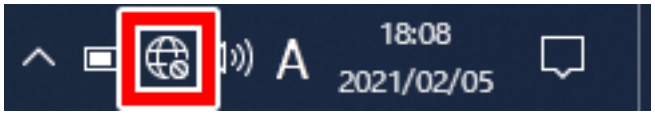
すると、Windowsの設定画面が表示されます。

◆使い方　・無線LAN（Wi-Fi）の設定

※あらかじめ、ご利用のルーターの[SSID]と[暗号化キー]をご確認ください。

1.　無線LAN(Wi-Fi)をオンにする。

（ア）タスクバー右下にある無線LAN(Wi-Fi)のアイコンをクリックしてください。

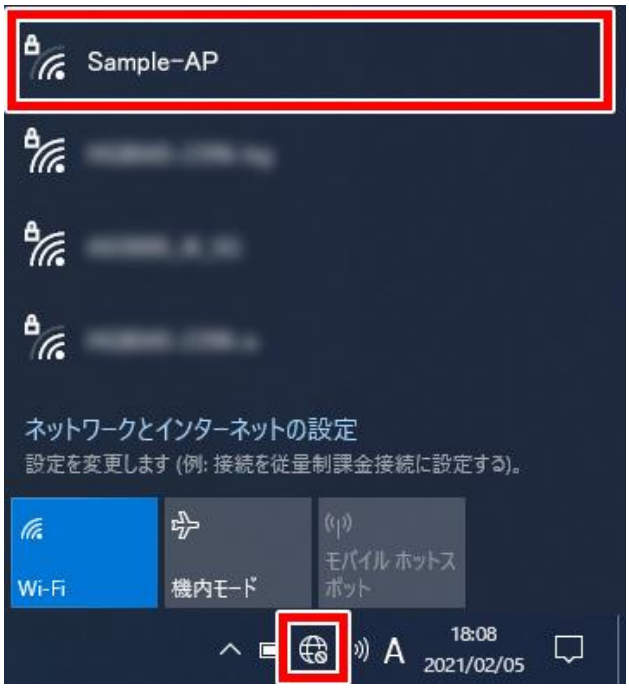


（イ）現れたメニューから[Wi-Fi]パネルが青色でない場合は、パネルをクリックしてください。

（ウ）無線LAN(Wi-Fi)がオンになると、パネルが青色になり利用可能になります。

2.　次に無線LAN(Wi-Fi)の接続設定をおこないます。

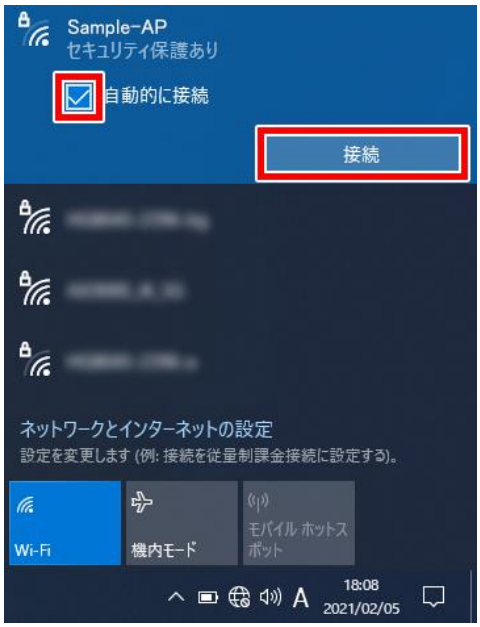
（ア）タスクバーにある無線LAN(Wi-Fi)のアイコンをクリックし、表示されたネットワークの一覧から、利用する親機（無線LAN(Wi-Fi)機器）の[SSID]をクリックしてください。



【利用する親機の[SSID]が表示されない場合】
親機の無線LAN(Wi-Fi)機能が有効になっていない、親機の電波が届かない場所にいる、親機がステルスモード([SSID]が自動的に検出されない状態) になっているなどが考えられます。親機の無線LAN(Wi-Fi)機能がオンになっていることをご確認いただき、電波状態の良好な場所で再度お試しください。

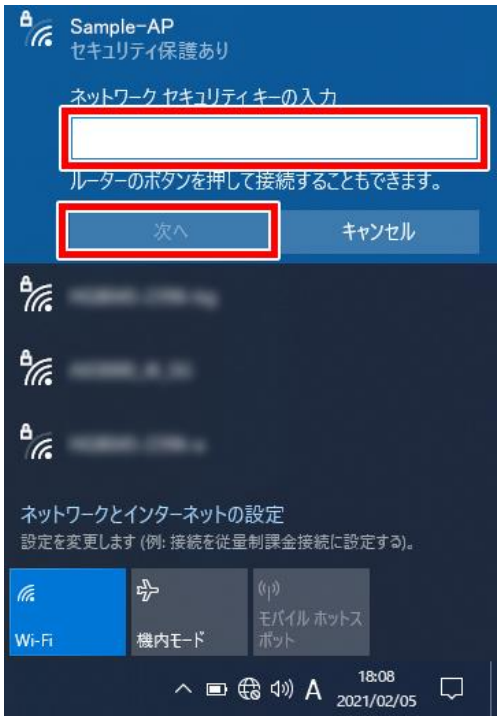
(イ) [接続]を選択してください。

※ 次回から、この[SSID]の電波を受信した際に自動的に接続するようにしたい場合は、[自動的に接続]にチェックを入れます。

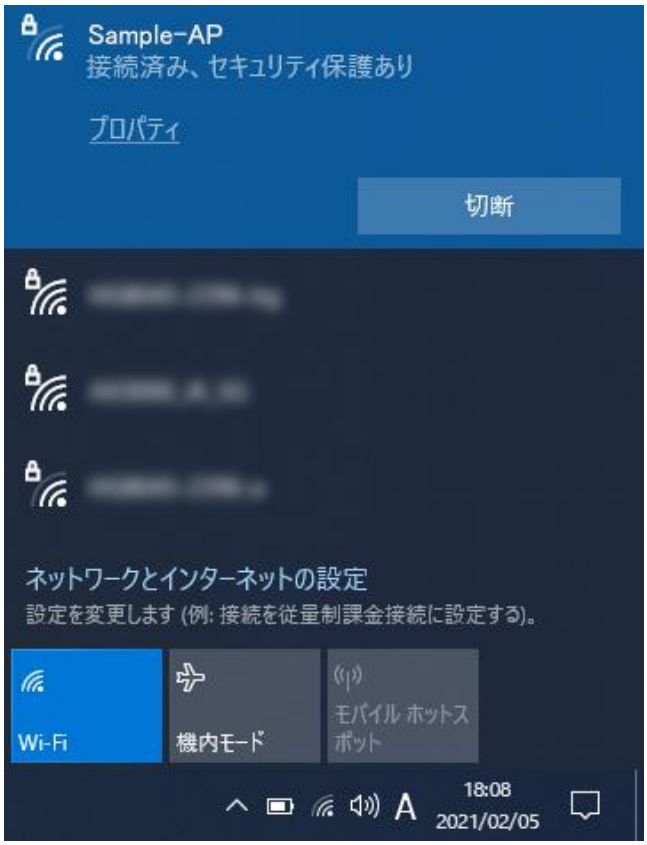


(ウ) [ネットワーク セキュリティ キーの入力]欄に暗号化キー(またはパスワード)を入力してください。入力後、[次へ]をクリックします。

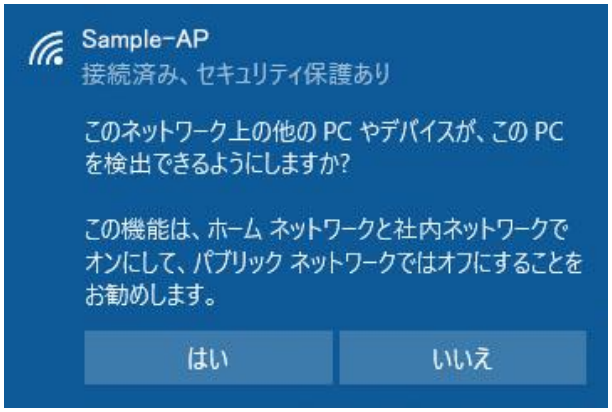
※ セキュリティ保護のため、暗号化キー(またはパスワード)は ● で表示されます。



（エ）選択された[SSID]が接続状態になっていることを確認してください。



（オ）下図のような検出設定が表示された場合は、画面の指示に従って検出設定をおこなってください。



以上で無線LAN(Wi-Fi)の接続設定は完了です。

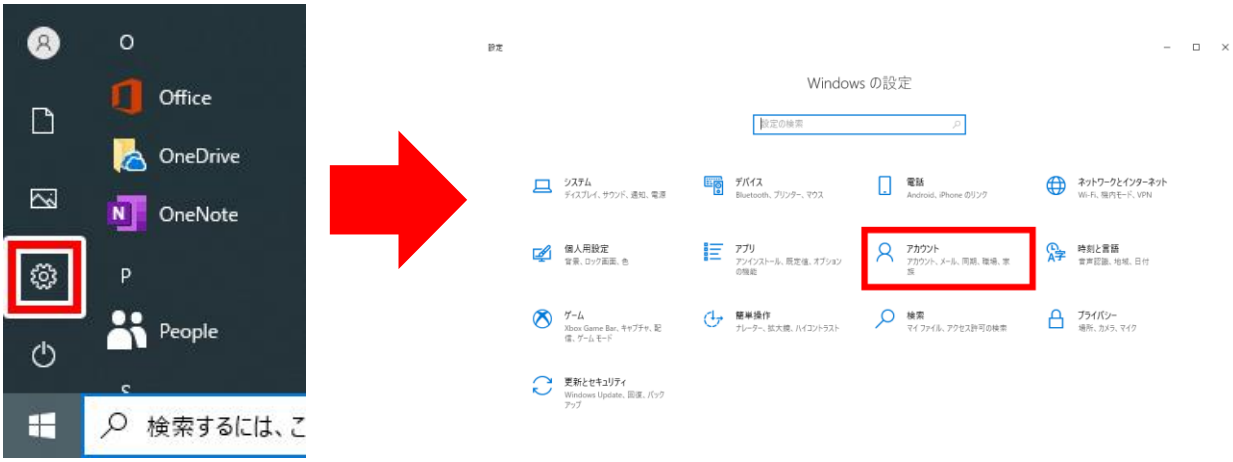
◆使い方　・指紋認証の設定

指紋認証の設定をおこなうことでパスワード入力が不要となり、パソコンへのサインインなどの操作を簡略化することができます。指紋認証の設定をおこなうには、Windows Hello暗証番号（PIN）を設定する必要があります。

※　初回起動時の初期設定にサインインパスワードの設定をおこなっていない場合は、暗証番号（PIN）の設定をおこなう前に「Windowsの設定」画面から、[アカウント]→[サインインオプション]→[パスワード]の順でクリックして、パスワードの設定をおこなってください。

● 暗証番号（PIN）の設定

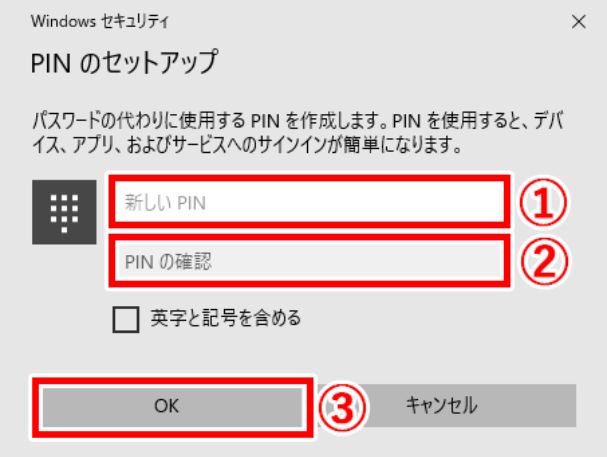
1. スタートメニューの[設定]をクリックして「Windows の設定」画面を表示させ、[アカウント]をクリックしてください。



2. [サインインオプション]をクリックしたあと、[Windows Hello 暗証番号（PIN）]をクリックしてください。

3. 項目が展開されますので、[追加]をクリックしてください。

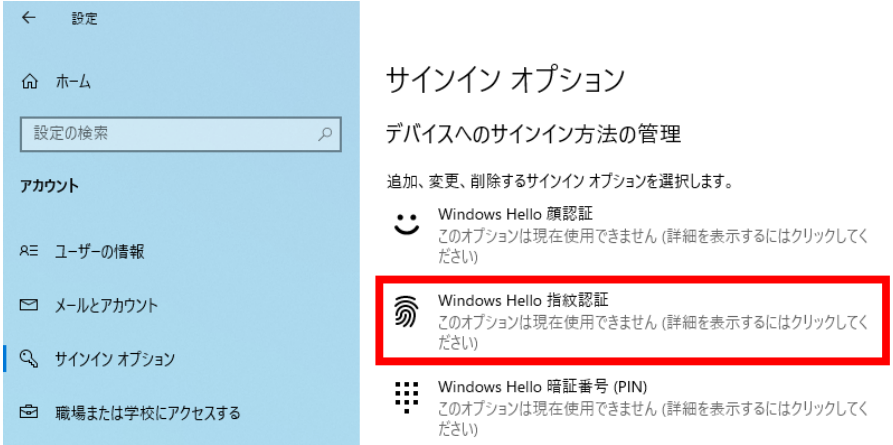
4. 初回起動時に設定したサインインパスワードを要求されますので、パスワードを入力し[OK]をクリックしてください。
5. PINの設定画面が表示されますので、①の[新しいPIN]へ4桁以上の数字を入力します。入力後同じように②の[PINの確認]へ入力し、③の[OK]をクリックします。
   注意：PINは簡単に推測できるパターンは設定できません。
   ※[英字と記号を含める]にチェックを入れると数字以外もPINとして設定することができます。



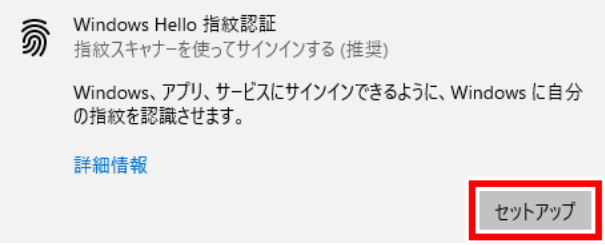
6. これで暗証番号（PIN）の設定 PIN の設定は完了です。

● 指紋認証の設定

1. 前項「暗証番号（PIN）の設定」で表示した、サインインオプションの設定画面を表示させます。
2. サインインオプションの設定画面内から、[Windows Hello 指紋認証]の項目をクリックします。

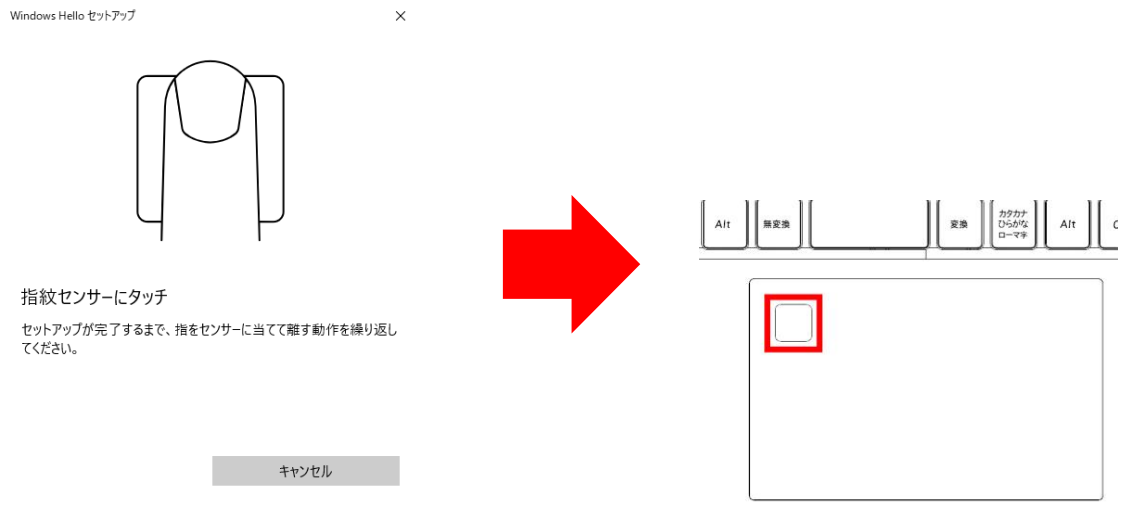


3. 項目が展開されますので、[セットアップ]をクリックしてください。



4. Windows Hello のセットアップ画面が表示されますので、[開始する]をクリックします。
5. 次に、「暗証番号（PIN）の設定」で設定した PIN を入力します。

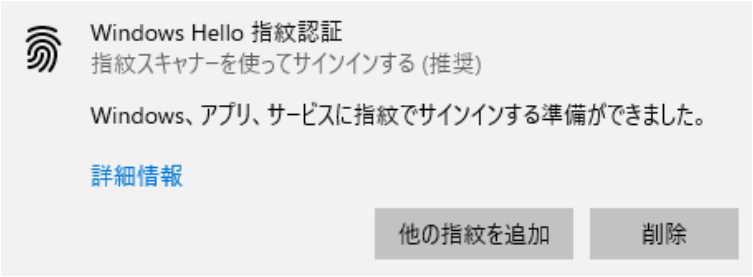
6. 「指紋センサーにタッチ」と表示されますので、タッチパッド左上にある指紋センサーに登録したい指（例：右手人差し指）を当てます。



7. 「センサーにもう一度タッチしてください」と何度か表示されますので、完了するまで同じ指（例：右手人差し指）を指紋センサーに当てます。

8. 「すべて完了しました。」と表示されたら[閉じる]をクリックし、指紋認証の設定は完了です。

※ 別の指の追加登録や登録した指紋の削除をおこなう場合は、サインインオプションの設定画面内の[Windows Hello 指紋認証]の項目から、追加と削除をおこなうことができます。



◆使い方　・WPS Office 2について

- 用意するもの
  付属のWPS Office 2 ライセンスカード

本製品にプリインストールされているWPS Office 2を使用するには、本製品がインターネットに接続されている状態で、付属のWPS Office 2 ライセンスカードに記載してあるシリアル番号を入力する必要があります。

詳しいシリアル番号の入力方法、WPS Office 2のサポート情報はライセンスカードに記載されているWebサイトにアクセスすることで確認できます。

ソフトウェアはデスクトップ画面左下のスタートボタン（Windowsアイコン）をクリックすることで現れる、スタートメニュー内に登録されています。

◆使い方　・microSDカードの取り付け手順

- 用意するもの

  最大容量128GBまでのmicroSDカード（別売り）

  ※すべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。

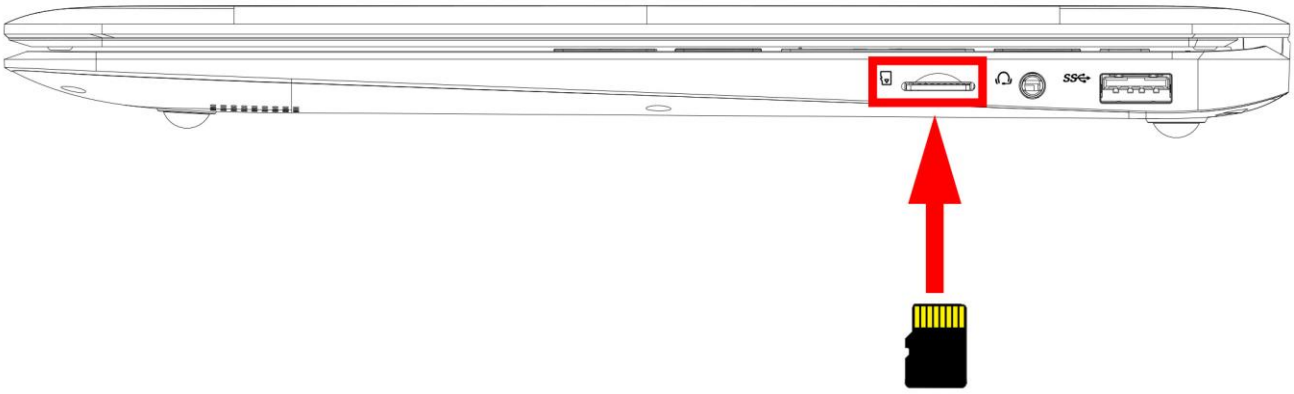
⚠ 注意

1. **コンピューター本体内部に、部品や異物を入れないようにしてください。故障の原因となります。**
2. **microSDカードを取り付ける際は、挿入する向きや方向を確認してから取り付けてください。また、無理に押し込んだり、斜めに挿入しないでください。故障や破損の原因となります。**
3. **体に静電気を帯びた状態でmicroSDカードの取り付け・取り外しをおこなうと、コンピューター本体やmicroSDカードを破損させてしまうおそれがあります。身近な金属に触れて体の静電気を取り除いてください。**
4. **microSDカード内のデータにアクセスしている途中でmicroSDカードを抜かないでください。故障やデータの消失の原因となります。**
5. **取り付けたmicroSDカードについては、故障・破損・データの消失など、いかなる場合においても保証対象外となります。**

- 取り付け手順

1. コンピューター右側のmicroSDカードスロットに、microSDカードの端子部分がコンピューター天面に向くようにして、まっすぐカチッと音がしてロックされるまでゆっくりと押し込んでください。

   ※　指でmicroSDカードを奥へ押し込みづらい場合は、つまようじなどの先の細い棒状のものをご使用ください。



2. 正しく取り付けられると、自動でコンピューターがmicroSDカードを認識して使用可能な状態になります。

- 取り外し手順

1. ロックされているmicroSDカードを再度押し込むことでロックが解除されます。
2. 押し出されてきたmicroSDカードを抜き取ります。

◆使い方　・SATA3 M.2 SSDの取り付け手順

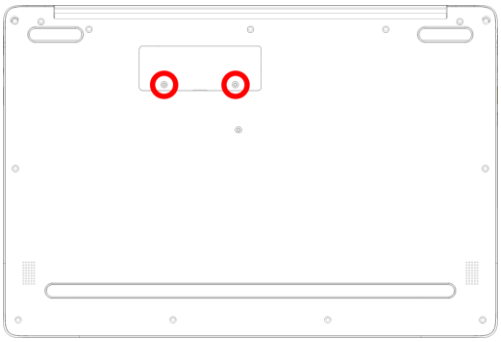
本製品の底部には、SATA3 M.2 SSDスロットが搭載されており、必要に応じてストレージ容量の増設をおこなうことができます。
本項目では、SATA3 M.2 SSDの取り付け方法について説明します。

- 用意するもの
  1. プラスドライバー（サイズ#0）
  2. マイナスドライバー（サイズ1.6mm）
  3. 最大 1TB までの B Key または B＆M key 対応 SATA3 M.2 SSD（Type 2280）

注意

1. **PCIe用のM.2 SSDは使用することができません。**
2. **取り付け・取り外しをおこなう場合は、必ず本製品の電源を切り、ACアダプタや周辺機器は取り外してください。故障の原因となります。**
3. **コンピューターの電源を切った直後は本体が高温になっている場合があり、そのままパーツの取り付け・取り外しをおこなうと、やけどなどの原因となるおそれがあります。コンピューターの電源を切り、AC アダプタを外して 10 分程度待ったあとに取り付け・取り外しをおこなってください。**
4. **本手順にない箇所のネジやカバーを外して分解しないでください。感電や故障の原因になります。**
5. **取り外したネジやカバーなどの部品は紛失しないようご注意ください。また、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。**
6. **コンピューター本体内部に、部品や異物を入れないようにしてください。故障の原因となります。**
7. **カバーがうまく取り付けられない場合は、いったん取り外してから取り付け直してください。無理に力を加えて取り付けようとすると破損させてしまうおそれがあります。**
8. **ネジのサイズに合わないドライバーは使用しないでください。ネジの頭を破損させるおそれがあります。**
9. **体に静電気を帯びた状態でパーツの取り付け・取り外しをおこなうと、コンピューター本体やパーツを破損させてしまうおそれがあります。身近な金属に触れて体の静電気を取り除いてください。**
10. **取り付けたパーツについては、故障・破損・データの消失など、いかなる場合においても保証対象外となります。**
11. **増設したストレージは、OS起動ドライブ（ブートドライブ）に設定することはできません。**

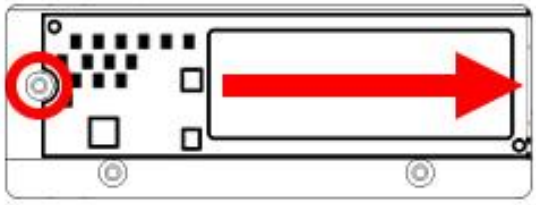
- 取り付け手順
  1. 本体底部のM.2 SSDスロットのカバーを固定している2つのネジをドライバーで取り外します。



  2. ネジを取り外した後、カバーの中央部の切り欠きにマイナスドライバーを挿し込み、てこの要領でカバーを取り外します。

3. カバー内部にある、M.2 SSD固定用ネジをドライバーで取り外します。

4. M.2 SSDの端子部の切り込みがスロットに合うように向きを確認した後、ゆっくりとM.2 SSDを挿し込みます。
切り込みの向きが合っており、奥まで挿し込むことができれば、先ほど取り外したM.2 SSD固定用のネジ穴にM.2 SSD反対側の切り込みが合いますので、取り外したネジでM.2 SSDを固定します。



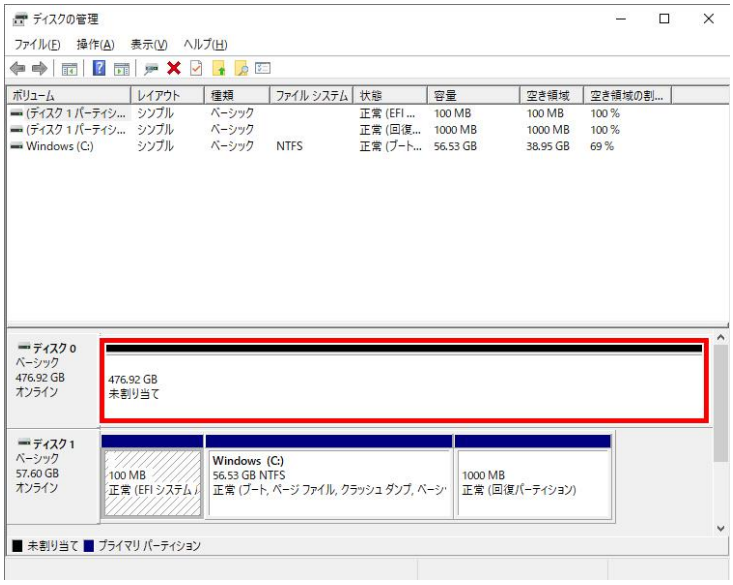
5. カバーを元に戻して、ねじでカバーを固定します。

- 取り付けたM.2 SSDの初期化方法
  - 新しく取り付けたM.2 SSDは初期化をし、領域を作成する必要があります。
    本説明では512GBのSSDを使用して、その容量すべてを使用可能な状態にするまでを説明します。
  - 各説明内容は、ご使用のPCのバージョンや設定された内容により画面表示などが異なる場合があります。

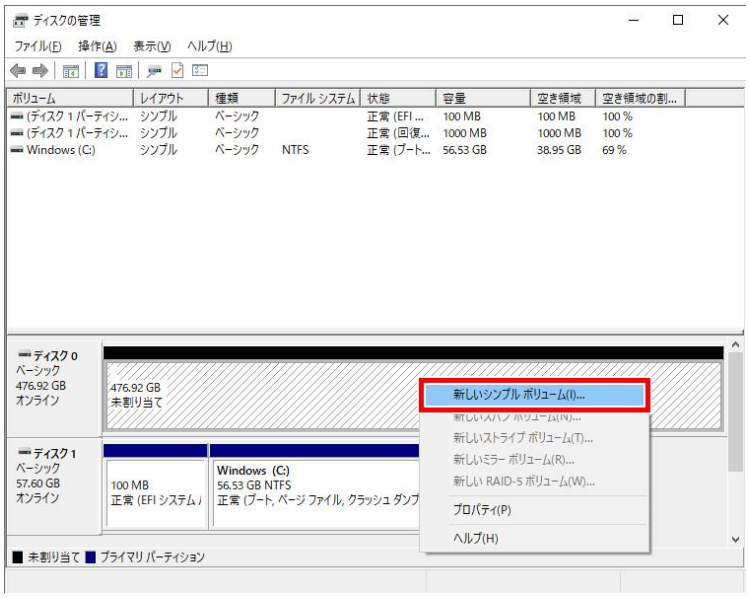
1. スタートボタンを右クリックし、[ディスクの管理]をクリックします。

2. 「ディスクの初期化」画面が表示されますので、「GPT(GUIDパーティションテーブル)」を選択し[OK]をクリックします。

3. 「ディスクの管理」画面に表示されている『未割り当て』のSSDをクリックします。

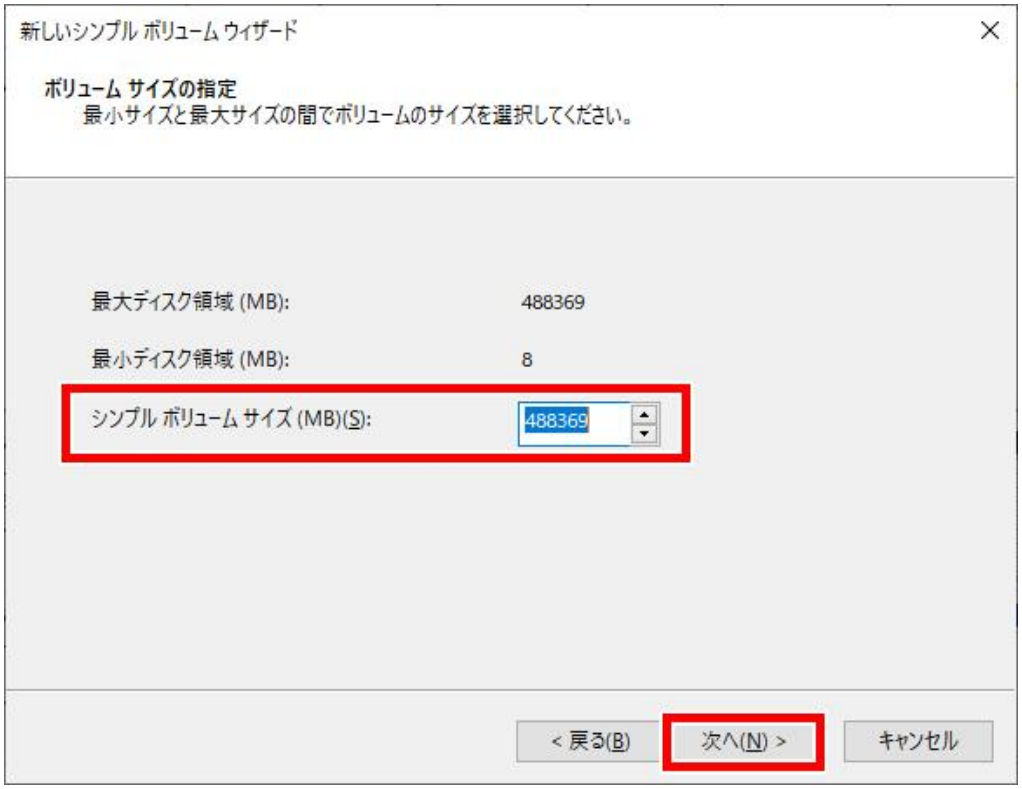


4. 右クリックし、[新しいシンプルボリューム(I)...]をクリックします。

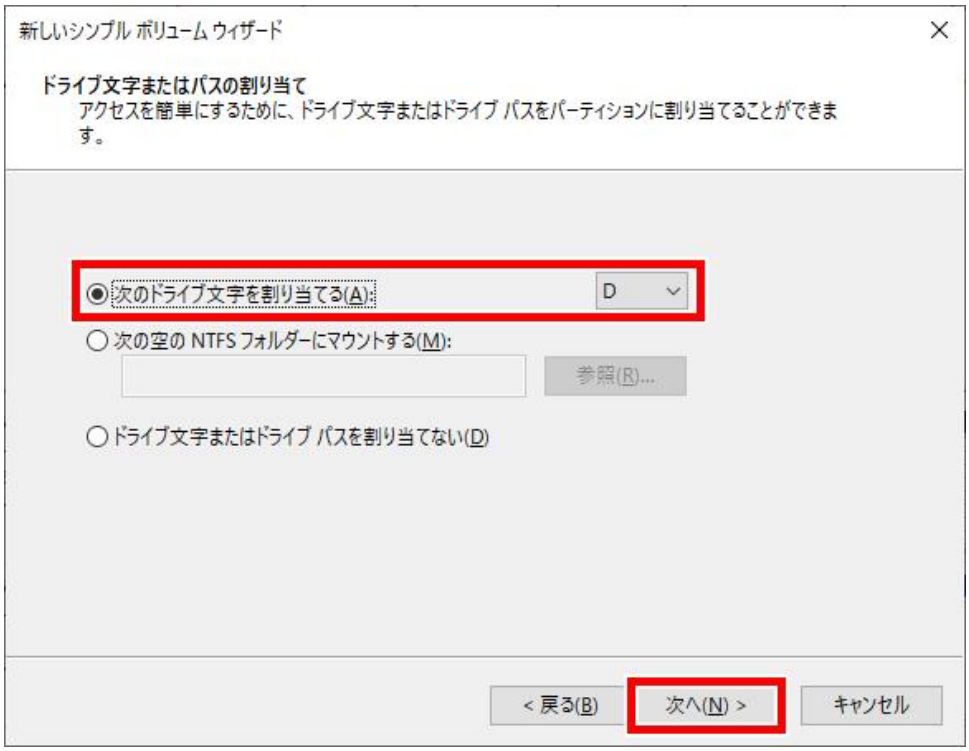


5. 「新しいシンプルボリュームウィザード」画面が表示されますので[次へ(N)＞]をクリックします。

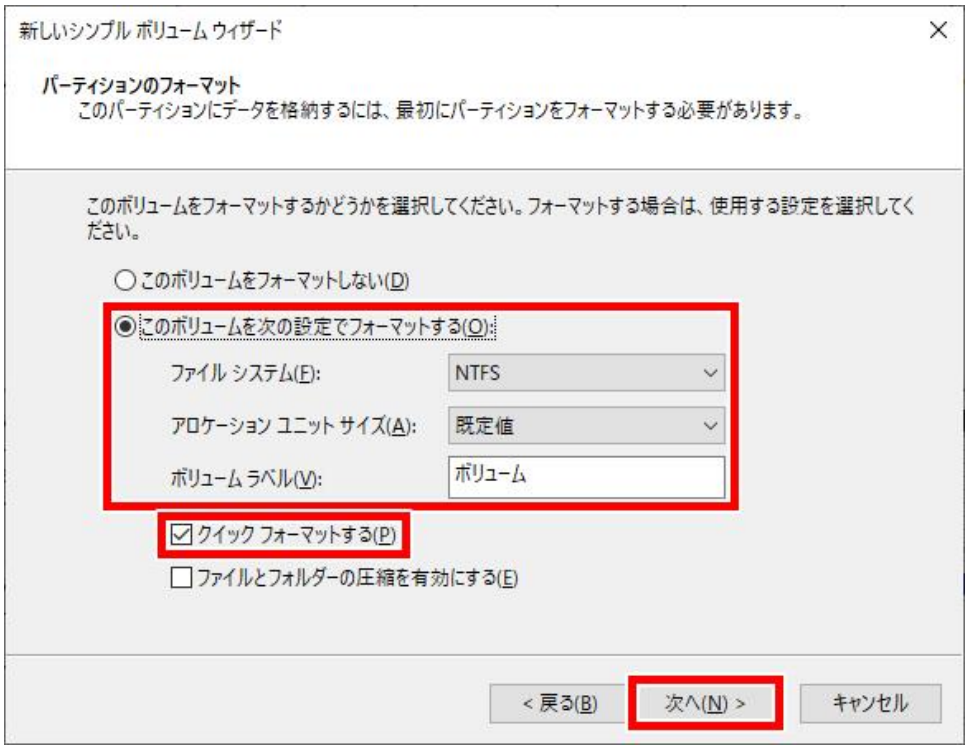
6. 「シンプルボリュームサイズ(MB) (S):」の設定をおこないます。
M.2 SSDの容量すべてを使用可能にする場合は、変更をおこなわず[次へ(N) ＞]をクリックします。



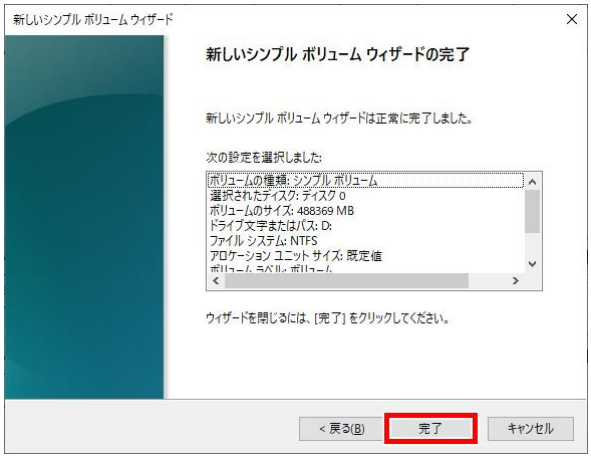
7. 「次のドライブ文字を割り当てる(A):」の設定をおこないます。
ここで選択したドライブ文字が取り付けたM.2 SSDに割り当てられます。
変更する必要がなければ、そのまま[次へ(N) >]をクリックします。

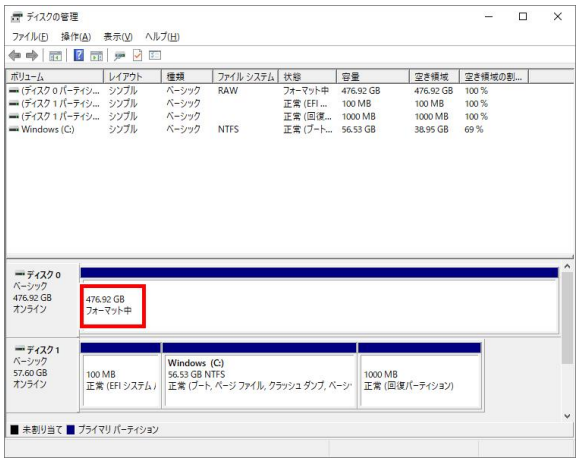


8. 「このボリュームを次の設定でフォーマットする(O):」が選択されていることを確認し、「クイックフォーマットする(P)」にチェックが入っていることを確認して[次へ(N) >]をクリックします。

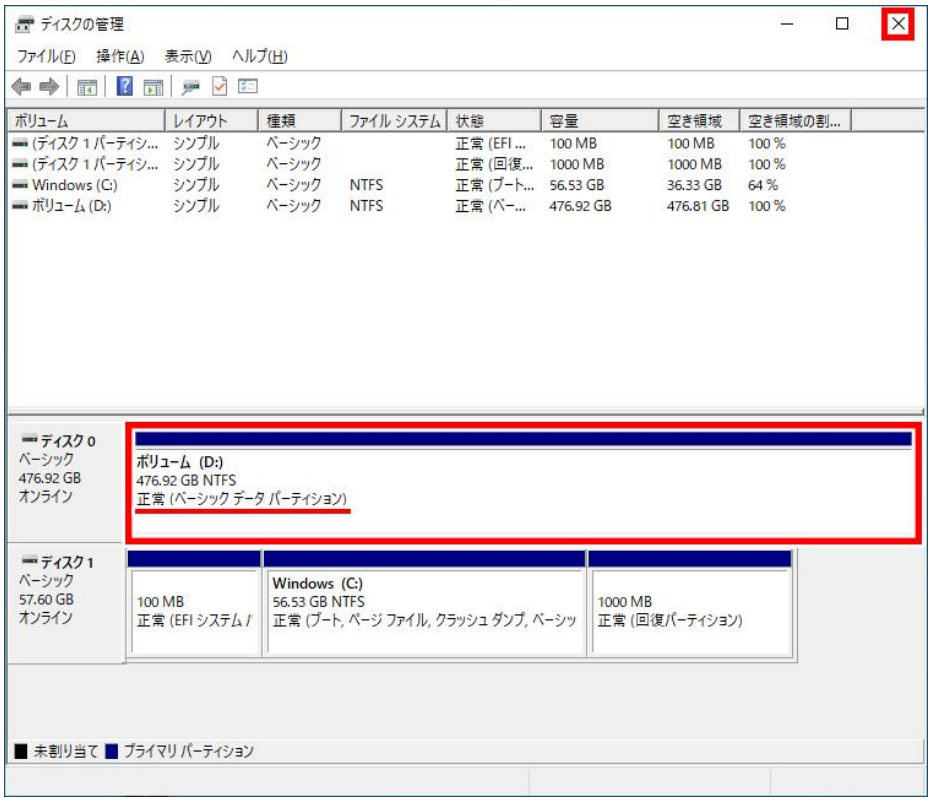


9. 「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」が表示されたら[完了]をクリックします。クリック後フォーマットが開始されます。フォーマットしている間は「フォーマット中」と表示されます。

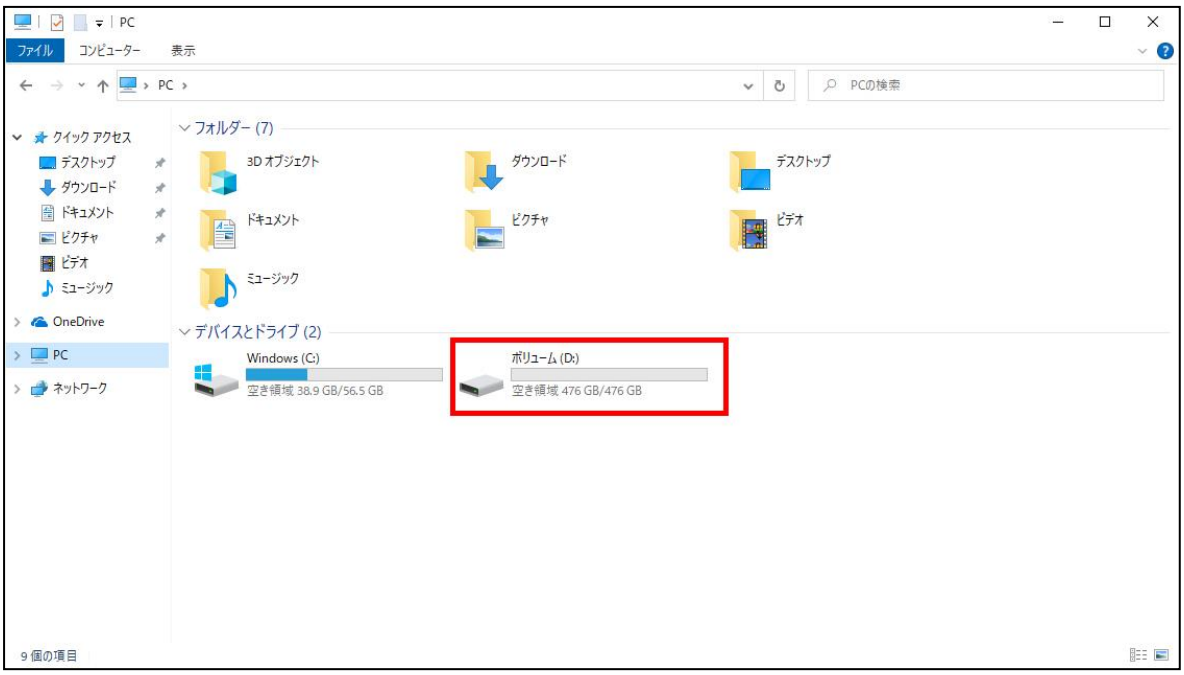




10. フォーマット後、「正常(ベーシックデータパーティション)」と表示されたら右上の[×]ボタンをクリックし「ディスクの管理」を閉じます。



11. エクスプローラーを起動し「PC」の項目の『デバイスとドライブ』欄に新しいSSDが表示されていれば完了です。

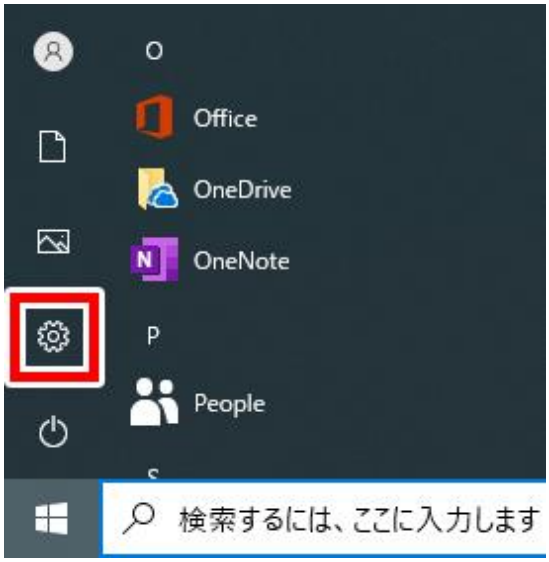


◆使い方　・Windowsの初期化

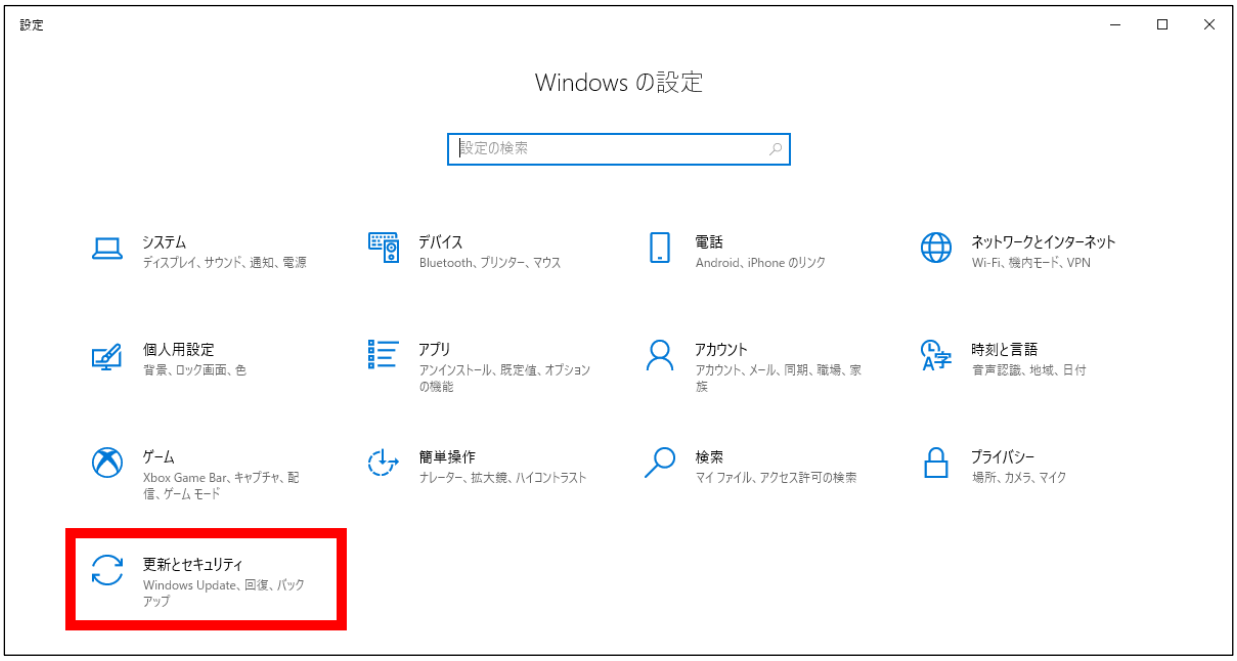
⚠ 注意

初期化をおこなう際は、故障の原因となりますので満充電状態かつ、ACアダプタを接続した状態でおこなってください。
また、下記の手順以外の方法での初期化は絶対におこなわないでください。操作・通信不能などをはじめとするさまざまな不具合の原因となります。下記方法以外での初期化により発生した不具合は保証対象外となる場合があります。

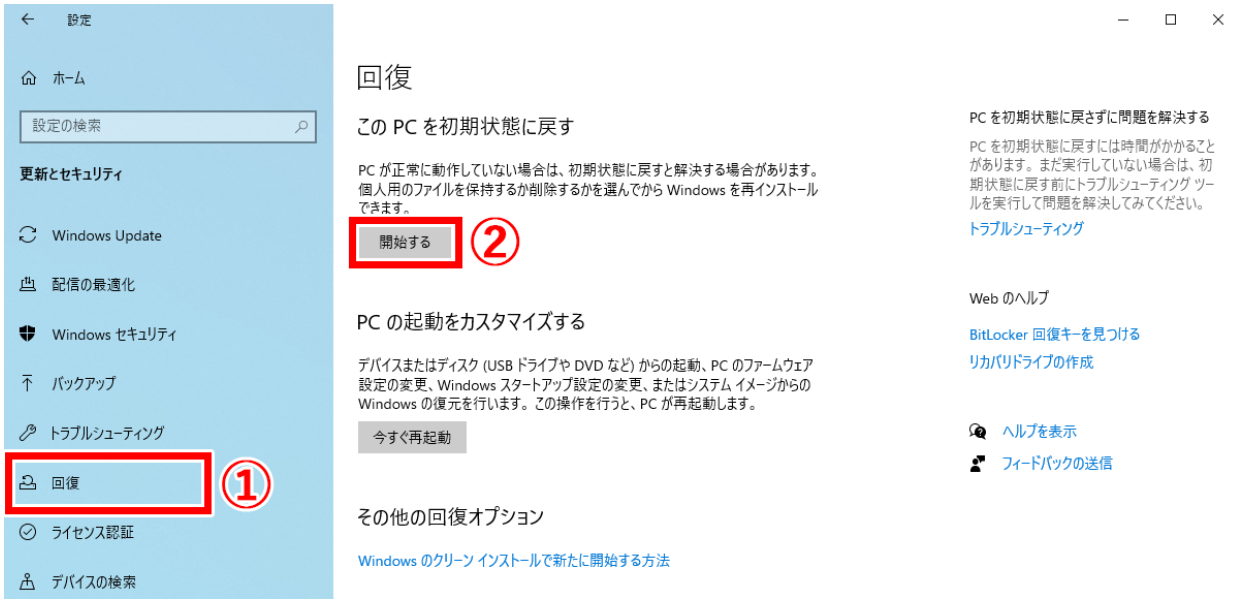
1.　スタートメニューから[　設定　]をクリックしてください。



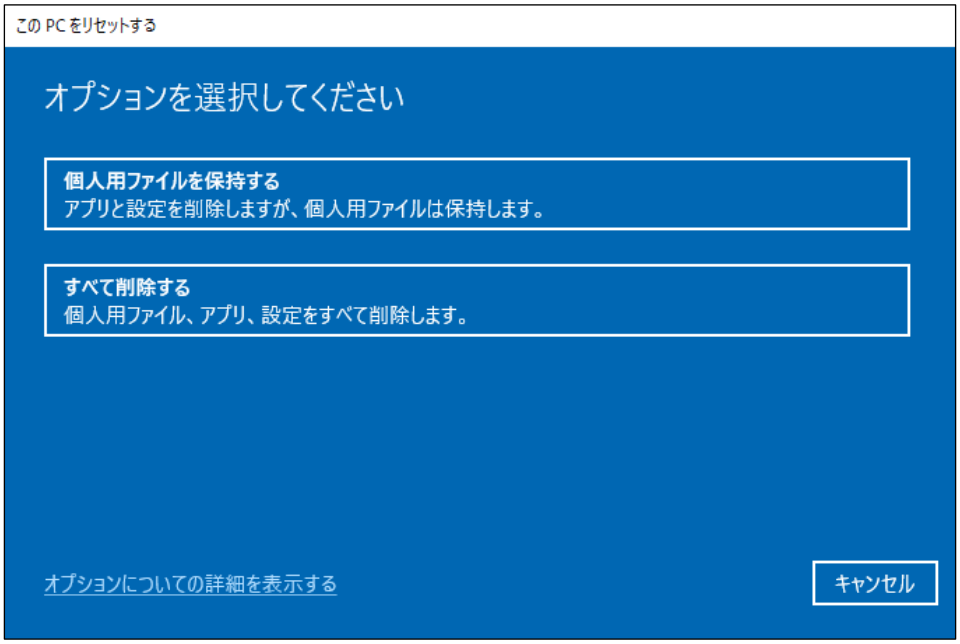
2.　[　更新とセキュリティ　]をクリックしてください。



3. 画面左側のメニューから[回復](下図①)をクリックしたあと、画面右側に表示されるメニュー内にある「このPCを初期状態に戻す」の[開始する](下図②)をクリックしてください。



4. オプション内容をご確認のうえ、それぞれ選択して初期化を進めてください。



※ 本書は2021年2月時点のOSバージョンにて作成されております。OSのバージョンアップにより、表示内容が変更される場合があります。

◆FAQ（よくある質問）

1. 起動しない ／ 電源が入らない

✓ 十分に充電されているか確認してください。
充電中は電源入力ポートの隣の電源入力インジケーターが赤く点灯します。
過放電状態ですと、電源を接続した状態であってもすぐに起動しない場合や電源入力インジケーターが点灯しない場合があります。3時間以上充電してからP7「電源の入れ方」を参考に本体の電源を入れてください。

2. 充電ができない

✓ 付属の充電用ACアダプタを使用する場合
- ACアダプタのケーブルが電源入力ポートに挿入されているか確認してください。
- ACアダプタがコンセントに接続されているか確認してください。
- ACアダプタのケーブルがヘッドセットジャックに挿入されていないか確認してください。

✓ 本製品のUSB3.0 Type-Cポートを使用する場合
- 用意したアダプタ（またはモバイルバッテリー）およびUSB Type-CケーブルがUSB Power Deliveryと12V2Aまたは15V2A電源出力に対応しているか確認してください。
- 上記の機器が正しく、本体のUSB3.0 Type-Cポートに接続されているか確認してください。

✓ 電源が正しく接続され充電中であれば、電源入力ポートの隣の電源入力インジケーターが赤く点灯します。（フル充電状態になると青く点灯します。）

3. ログイン用のパスワードを忘れてしまった

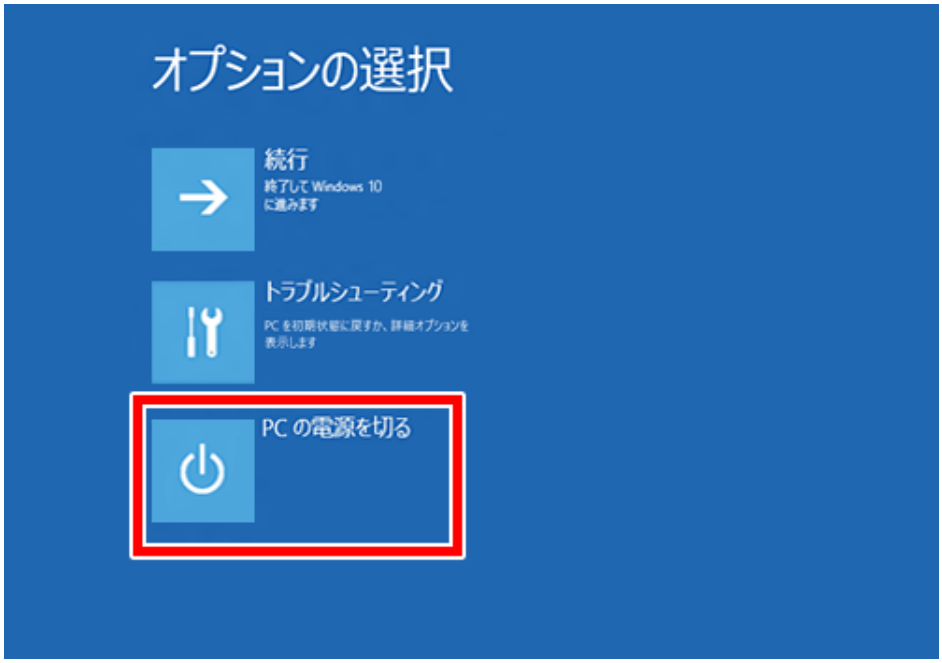
✓ Microsoftアカウントを利用してアカウント設定している場合は、インターネットが利用できる環境で「https://account.live.com/password/reset」へアクセスし、パスワードのリセットをおこなってください。
※ Microsoftアカウントとは、電子メールアドレスとパスワードを使用して、Microsoftのオンラインサービスおよび Windows 10へサインインするためのアカウントです。そのため、インターネット上で個人の認証をおこないます。

✓ ローカルアカウントのパスワードは、お客様に管理していただくものとなります。パスワードなどを忘れてしまいお客様側でパスワードのリセットをおこなえない場合は、メーカーを含めた第三者がそれを解除することはできません。その場合は有償にて工場出荷時の状態にお戻ししますので、ご購入店舗へお持ち込みいただき、有償初期化をご依頼ください。なお、画像・音楽・メール・アプリを含めたすべてのデータは消失しますので、あらかじめご了承ください。

4. 突然、無線LAN(Wi-Fi)経由でインターネットに接続できなくなった

① スタートメニューから[電源]（下図①)をクリックしたあと、「SHIFT」キーを押しながら、[再起動]（下図②)をクリックしてください。

② しばらくすると「オプションの選択」画面が出ますので、[PCの電源を切る]をクリックしてください。



③ 電源が切れたあと、電源ボタンを電源インジケーターが点灯するまで長押しし、起動してください。

✓ 以上をおこなっても改善しない場合は、ご使用のルーターやモデムの再起動などをお試しください。

5. 電源接続時の使用について

✓ 電源接続中の本体を不安定な場所で使用したり、移動した場合、バッテリーおよび接続端子に負担が生じ故障の原因となるため、充電しながら使用する際は十分にお気を付けください。

6. 外付けのハードディスクやDVDドライブが使用できない

✓ USBポートに接続し使用するUSBバスパワー駆動の一部製品は電力供給不足となる場合があります。製品の仕様であり異常ではありません。

✓ USB接続の一部ハードディスクやDVDドライブなど、別途専用のACアダプタなどで電源供給が可能な製品がございます。

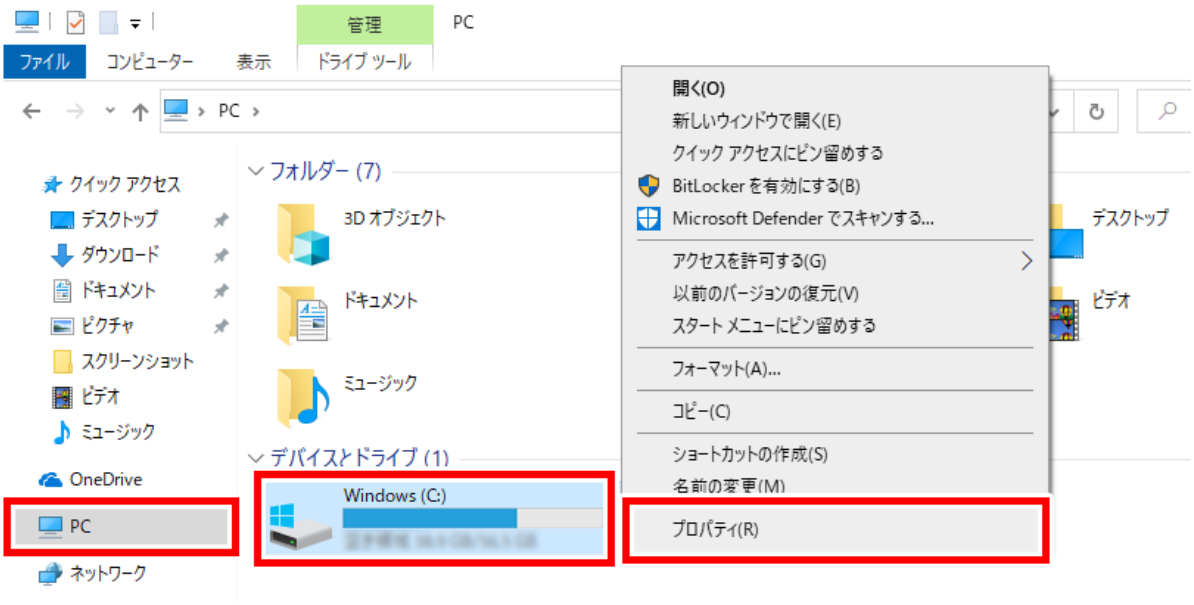
※ 詳しくは外付けハードディスクメーカー・DVDドライブメーカーへご確認ください。

7. ストレージ容量を圧迫するWindows10の旧バージョンファイルの削除方法

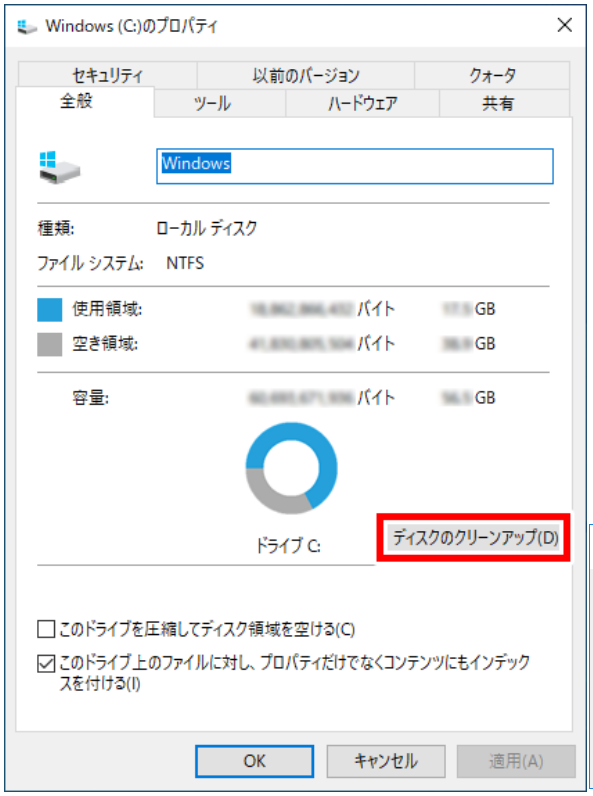
※この操作を実行すると旧バージョンのファイルが削除され、PCのディスク領域を空けることができますが、旧バージョンへは戻せなくなりますのでご注意ください。また、この操作を実行しなくても一定期間が過ぎると旧バージョンのファイルは自動的にPC上から削除されます。

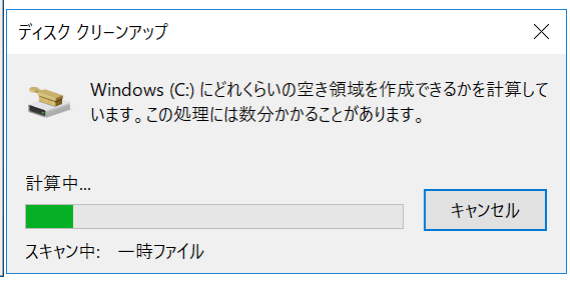
① タスクバーの[エクスプローラー]をクリックし、エクスプローラーを起動してください。

② エクスプローラーより[PC]を選択、Windowsがインストールされているディスクにカーソルを合わせ、右クリック後に[プロパティ(R)]をクリックしてください。

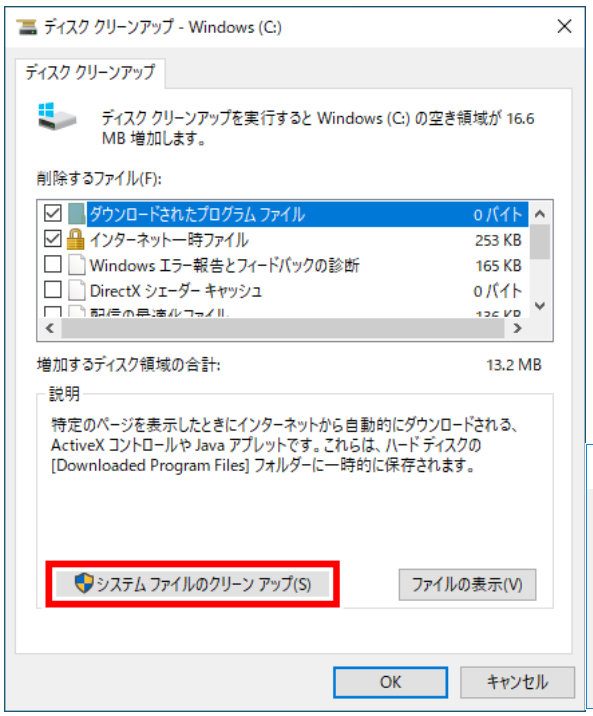


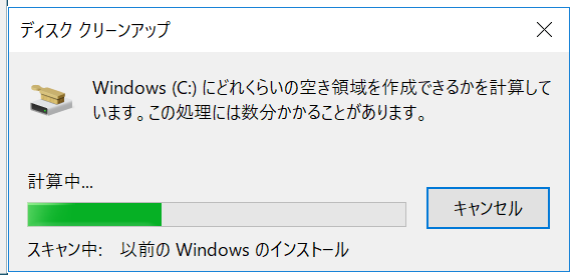
③ ［ ディスクのクリーンアップ（D）］をクリックしてください。空き領域の計算が開始されます。





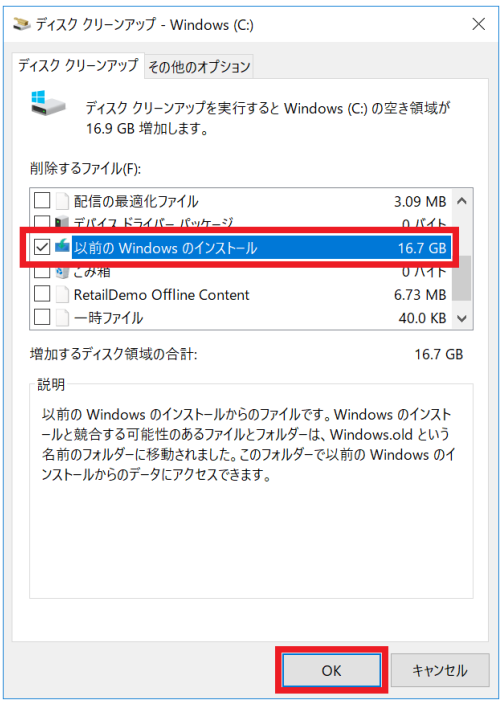
④ ［ システムファイルのクリーンアップ（S）］をクリックしてください。空き領域の計算が開始されます。



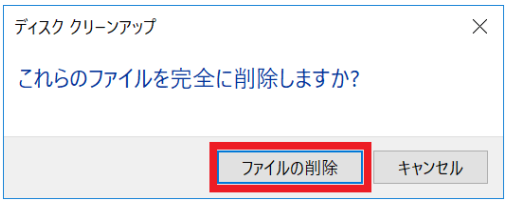


⑤ 再計算完了後、[以前のWindowsのインストール]のチェックボックスにチェックを入れ、[OK]をクリックしてください。

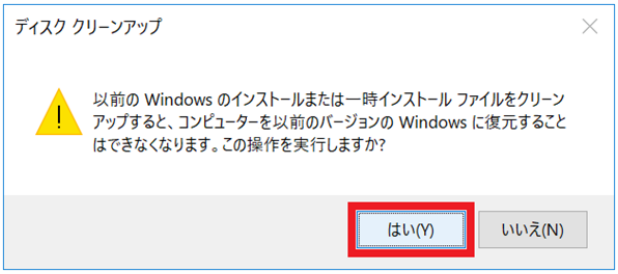
※ 項目に[Windows Updateのクリーンアップ]があれば、こちらもチェックを入れて削除してもかまいません。



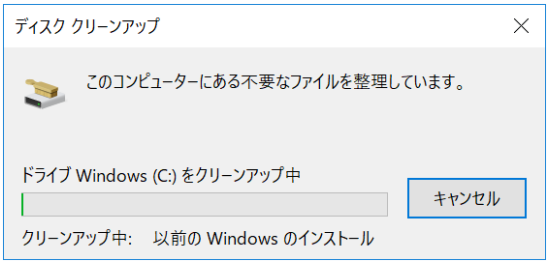
⑥ [ファイルの削除]をクリックしてください。



⑦ 下記のような注意が表示された場合は、内容をご確認いただき、よろしければ[はい(Y)]をクリックしてください。



⑧ ファイルの削除が開始されます。ウィンドウが消えれば完了です。



◆仕様

品番	KNW14FHD4-SR
JAN	4534782970566
プロセッサ	Intel® Celeron® N4120 (Gemini Lake Refresh)
プロセッサスピード	1.10GHz/最大2.60GHz
グラフィックス性能	Intel® HD Graphics 600
無線LAN(Wi-Fi)	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
通信	Bluetooth® 5.1
OS	Windows 10 Pro 64bit
システムメモリ	LPDDR4 4GB (増設・変更不可)
ストレージ	eMMC 64GB
インターフェイス	USB3.0×2
	USB3.0 Type-C×1 (USB Power Delivery, DisplayPort Alternate Mode対応)
	Mini HDMI×1
	SATA3 M.2 SSD (B Key Type 2280)スロット×1 (最大1TBまで)
	microSD スロット×1 (最大128GBまで)
	3.5mmヘッドセットジャック×1
ディスプレイ	14 インチ IPS液晶 1,920×1,080 ドット
カメラ	200万画素 (インカメラ)
スピーカー	1W×2
キーボード	83キー日本語キーボード + 指紋認証搭載タッチパッド
バッテリー	5,000mAh 7.6V リチウムポリマーバッテリー 駆動時間:約9時間※1
サイズ(約)	幅 333×奥行 224×高さ 23mm※2
重量(約)	1,250g
取得規格	技術適合・PSE
ビジネス統合ソフト	Kingsoft WPS Office 2
保証期間	購入日より1年間
付属品	充電用ACアダプタ(コード長:約2.0m) miniHDMI変換ケーブル(コード長:約22cm) 保証書 取扱説明書 WPS Office 2 ライセンスカード

※1 JEITAバッテリー動作時間測定法にて計測
※2 閉じたとき